

2026 年 10 月 14 日

報道各位

国内初 「海外まき網船」 へ ポリエチレン製リサイクル漁網を納入しました

ニチモウ㈱（本社：東京都品川区、代表取締役社長：青木 信也）は、漁業者が使用し終えた廃棄漁網を回収し、改めて漁網として再生する、いわゆる水平リサイクルに成功しておりますが、この度、海外まき網漁業で用いるポリエチレン製漁網として国内で初めて※、大洋エーアンドエフ㈱様（本社：東京都港区、代表取締役社長：舟木 謙二）（船名：第三ふじ丸）へ納入いたしました。

海外まき網漁業とは、日本国内のみならず、世界における重要魚種であるマグロ・カツオ類を主な漁獲対象としており、世界の水産物供給において非常に重要な漁業です。一方で、まき網漁業用の漁網は、水揚げ量が大きく大規模であるため、製造時の石油使用量が多いことに加え、使用後の廃棄処分の手間やコストが高いこと、一部の悪質な漁業者による海洋への不法投棄等が問題視されております。

ニチモウはこの課題に対する解決策の一つとして、廃棄漁網のリサイクルに長年取り組んでおり、「R&B（Recycle & Black）再生ポリエチレン網」を開発しました。当製品は、海外まき網漁業を含む様々な漁業で使用され不要となった漁網を、当社が回収し、素材ごとに分別・洗浄し、加熱・整形により改めてペレット化、紡糸・原糸製造工程を経て再生した漁網を約 10%程度使用しており、次世代の環境型漁網といえます。



（集められた廃棄漁網）



（廃棄漁網から再生したペレット）

※自社調べ

・調査年月 : 2026 年 9 月

・調査対象範囲：日本国内で「海外まき網漁業で用いるポリエチレン製漁網の納入」として

これまで当社では、R&B 再生ポリエチレン網を用いた養殖生け簀を岩手県久慈市などで導入しておりますが、非常に高い強度を必要とする海外まき網漁業では納入実績がありませんでした。この度、今後将来に亘って、国内外の食卓に持続可能な水産物を提供し続けるために必要な取り組みであるとの趣旨にご賛同いただいた、大洋エーアンドエフ株式会社様の協力を得て、国内で初めて実現いたしました。漁網の水平リサイクルは、コストや性能面でまだ課題はございますが、今後は、漁場における実際の使用感等を確認しながら、更なる技術開発に繋げていく予定です。



(再生ポリエチレン網を用いた漁具)



(漁具を漁船へ積み込みする様子)

今後ともニチモウグループは環境に配慮した持続可能な漁具資材の開発・供給を進め、『浜から食卓までを網羅し、挑戦の歩みを未来へ』を合言葉に、漁業の発展に貢献することを通じて、ステークホルダーのみなさまの豊かで健康な生活づくりに貢献できる企業を目指してまいります。

以 上